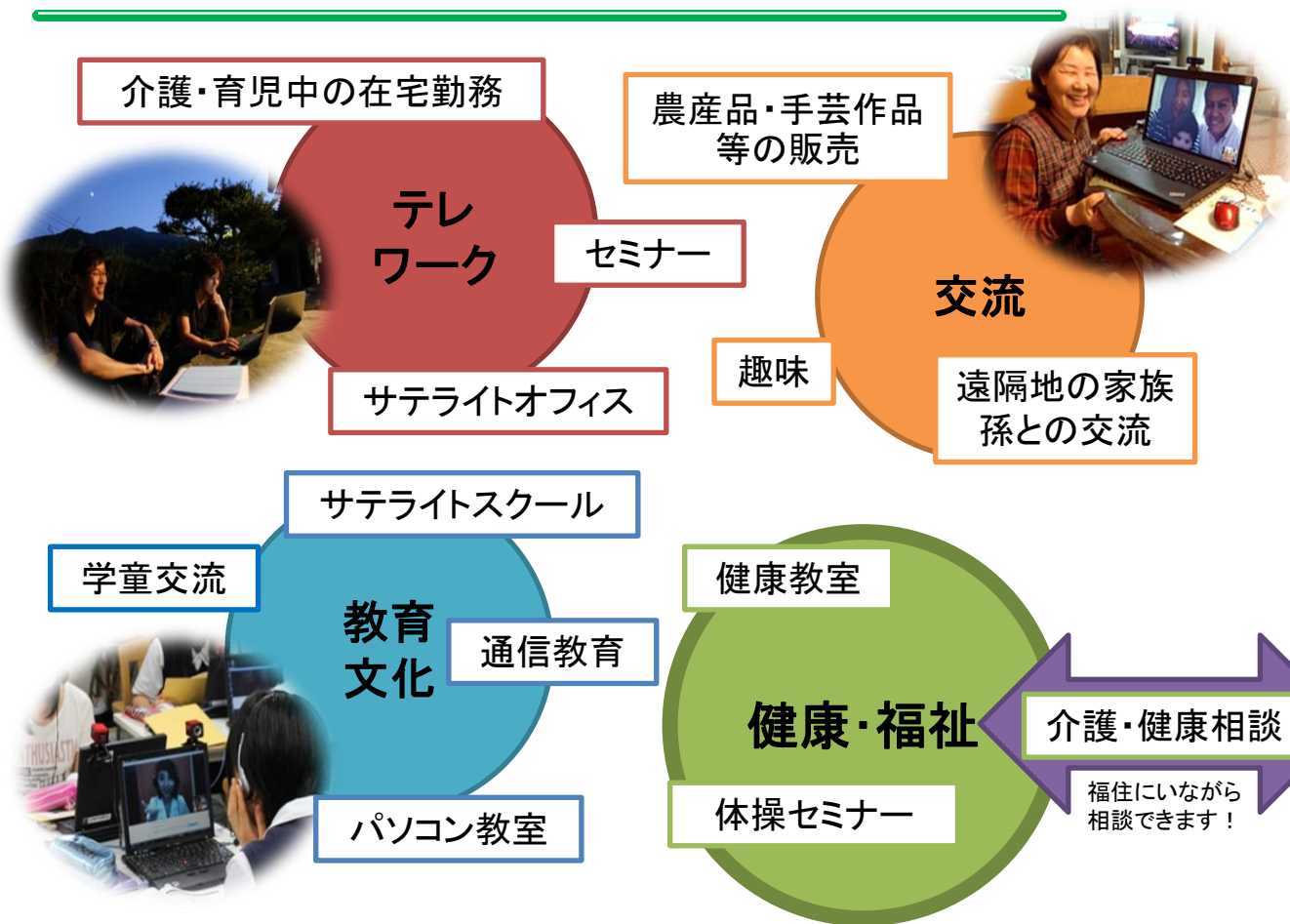


旧福住幼稚園 テレワーク設備の活用について

- 多目的ホールについては、テレワーク拠点としての整備が行われ、平成28年度中に利用開始予定。
- 市役所業務のテレワーク化の試行実験として、6月中旬に市役所職員がテレワーク利用。
- 今後の一般利用開始に向けて、テレワーク施設としての周知広報を行うとともに、地域での広い活用を促すため、テレワークに留まらない多様な活用方法を検討することが必要となります。

テレワーク・ICTの可能性



天理市メディカルセンター



診療のほか、2階の地域包括ケア広場にて「いきいきはつらつ教室」を開催。健康づくりや介護予防、生きがいを見つけることを目的にさまざまな教室が開かれています。



まちかど相談室

メディカルセンターの保健師や看護師による相談室と福住幼稚園が接続。介護や健康に関する相談が可能になります。



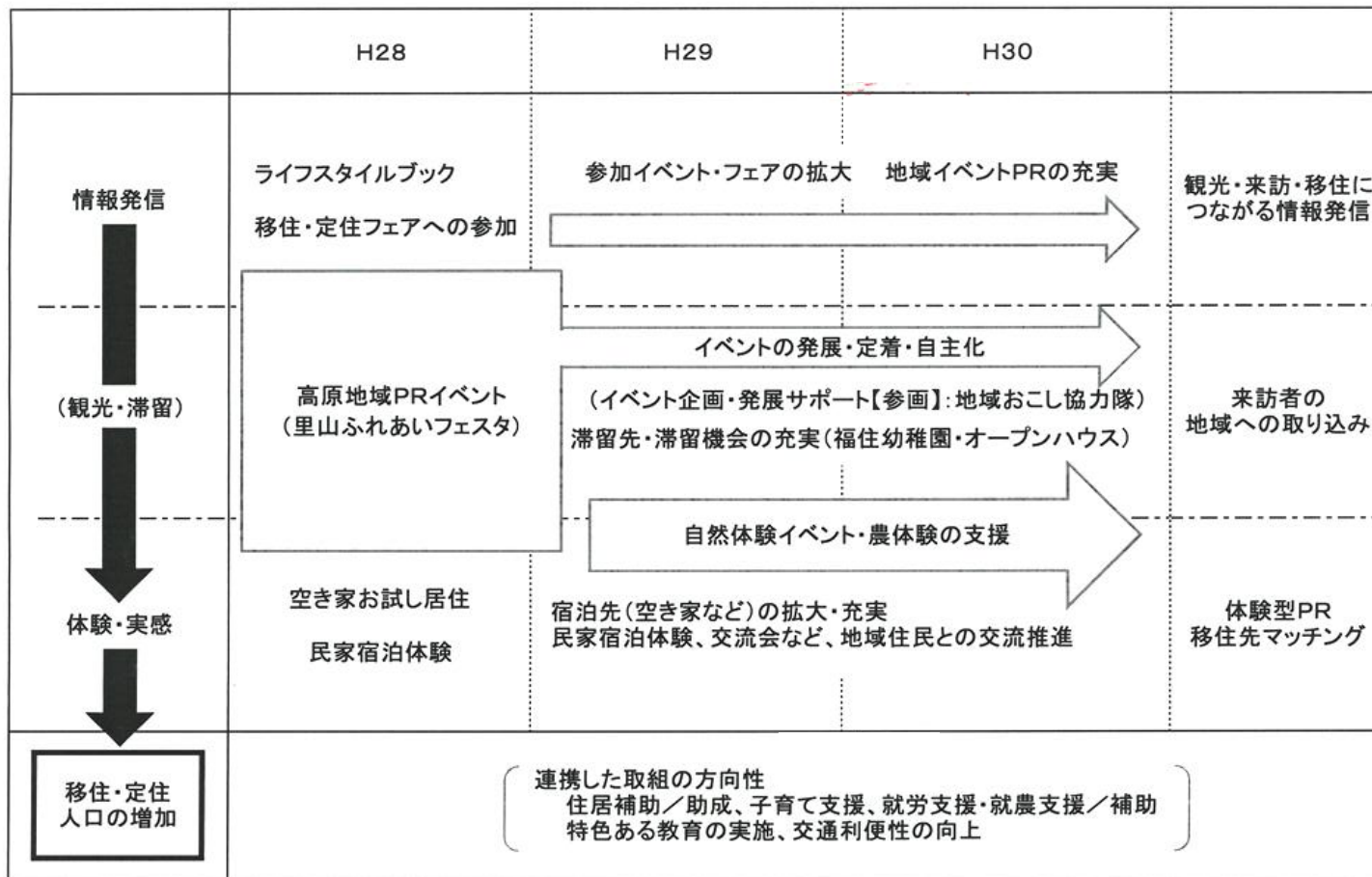
相談内容の例

- 介護・認知症に関すること
- 介護等への行政支援について
- 健康に対する不安や悩み

移住・定住促進に向けた取組について

- 少子化により小学校で複式学級が始まるなど、若い世代を中心に校区における人口減少が本格化しています。
- 地域の行事等の文化の継続に留まらず、学校教育や福祉といった地域の生活基盤を維持していくためにも、地域に参画する移住者を呼び込んでいくことがこれまで以上に求められています。
- 高原地域内外の人の交流を促し、地域のにぎわいを創出するとともに、そのにぎわいを移住という形で地域に取り込んでいくことを最終目標として、県との協定のもと「天理市高原地区 移住・定住促進事業」を実施します。

事業方針図



高原地区ライフスタイルブック作成事業

- 自然の恵みや深い歴史と文化、都市部との交通アクセスの良さなどの天理市高原地域の環境がもたらす暮らしの豊かさを地域の人々の生活を通じて発信するため、移住希望者に移住後の実際の生活を具体的にイメージさせる冊子を作成する事業。
- 冊子は今後、都市部等で開催される移住・定住フェア等のイベントに参加する際などのプロモーション活動のツールとして活用していく。
- 冊子仕様案： B5サイズ / 30P程度 / 3000部
- 内容構成案
 - ①高原の暮らし—1人の人物(とその家族)を題材に地域の生活を紹介
 - ②地域の人との交流会—移住に関する不安や疑問に応えるQ&A
 - ③地域の紹介—健康・農・産・歴史
 - ④移住等に関するインフォメーション

空き家お試し事業

- 都市部など地域外の方に、高原地域の空き家に宿泊してもらい、その豊かな暮らしを体感し、魅力を実感してもらうことを目的とする事業。
- 平成28年度 事業費内訳(10日間分)
 - 受入協力への謝礼
 - 観光ガイド、農業体験指導等の協力謝礼
 - 利用者保険料
- 今後の移住を想定した展開を含め、体験に利用する空き家情報の継続的な収集・把握が必要となる。
- 農業体験等への協力者を募る。

民泊体験事業

- 高原地域住民の関係者とその友人・知人を対象に、帰省の時期等を活用して協力家庭に宿泊してもらい、その魅力を再発見してもらうとともに、受入側の体制づくりの一助とするための事業。
- 平成28年度 事業費内訳(5日間分)
 - 受入家庭への協力謝礼
 - 参加者への交通費支給
 - 利用者保険料
 - 布団借上げ料
- 協力家庭・高原地域に所縁のある参加者の募集。

春日台カントリークラブでのイベント

春日台カントリークラブ(福住町7453)の協力のもと、以下の催しが開催されます。
平野部の人や子どもたちが高原の環境を体感する機会となることが見込まれます。

○1000人キャンプファイヤー

【概要】

- 日時 平成28年8月27日(土)
午後2時30分から午後7時30分まで
- 概要 食・遊び・体験ブースが出展。
1,000人(3歳以上:保護者同伴)でキャンプファイヤーを囲む。
- 主催 Smile Kids Project
(スマイル キッズ プロジェクト)

○スポーツフェスタ

【概要】

- 日時 平成28年8月15日(月)
午前10時頃から午後3時頃まで
- 概要 グラウンドゴルフ大会
ゴルフ大会(春日台カントリークラブ主催)
クラブハウス内で物品販売などを予定。

